

第3回 防府市スポーツ推進計画策定委員会 議事録等

■開催日時・場所

令和2年11月13日（金）14時30分～15時30分

キリンレモンスタジアム ソルトアリーナ 会議室

■次第

1 挨拶

2 議事

（1）第二次防府市スポーツ推進計画（案）第1～2章について

（2）第二次防府市スポーツ推進計画（案）第3～5章について

3 その他

■配布資料

防府市スポーツ推進計画策定委員会 第3回 次第

防府市スポーツ推進計画策定委員会 資料【計画（案）、概要、修正箇所一覧】

■出席者名簿

	所属団体・役職	氏名	出欠
学識経験者	徳山大学 経済学部 准教授	瀬尾賢一郎	出席
スポーツ 団体 関係者	防府市体育協会 副会長	城 宣生	出席
	防府市体育協会 常任理事	大和 孝義	出席
	防府市スポーツ推進委員連絡協議会 理事	相本 幸	出席
	防府市スポーツ少年団本部 指導者協議会会長	深光日出男	出席
	総合型スポーツクラブ防府 会長	坪郷 好夫	欠席
学校教育 関係者	防府市小学校体育連盟 理事長	村岡 修平	出席
	防府市中学校体育連盟 理事長	阿部 直之	出席
その他	防府市老人クラブ連合会 副会長	長尾 隆治	出席
	防府市障害福祉団体連合会 会長	中村 信也	出席
公募委員		井上 務	出席
事務局	地域交流部 部次長	寺畑 俊孝	
	地域交流部文化・スポーツ課 課長	栗原 努	
	地域交流部文化・スポーツ課 課長補佐	宇佐川 渉	
	地域交流部文化・スポーツ課 係長	田邊 美幸	
	地域交流部文化・スポーツ課 主事	津田 直輝	

■議事録

1 開会

(事務局より資料の確認と開会の宣言)

2 委員長あいさつ

委員長 | 世間では、新型コロナウイルスの第3波が来ているのではないかと
いう状況の中、多くの委員にお集まりいただいた。会の進行をスムーズに
進めていきたい。

(以後、委員長が議事進行)

3 議事

委員長 | 次第2(1)について、事務局から説明をお願いします。

事務局 | 次第2(1)について説明

委員長 | 第二次防府市スポーツ推進計画(案)第1~2章について説明があっ
た。
今の説明について意見等あるか。

A委員 | 4ページに「人口構造」とあるが、「構成」ではなく、「構造」を使う
のは一般的なのか。

事務局 | 改めて確認する。

委員長 | SDGsの文言が追加されているが、第二次防府市スポーツ推進計画
が17の目標のどれに該当するか。また、明記する必要はあるか。

事務局 | 「4 質の高い教育をみんなに」の生涯学習に該当すると思われるが、
それに限らず広く捉えていきたい。

委員長 | 続いて、次第2(1)について、事務局から説明をお願いします。

事務局	次第2（2）について説明
委員長	第二次防府市スポーツ推進計画（案）第3～5章について説明があった。 今の説明について意見等あるか。
B委員	22ページの数値目標について、施設の利用者数というのは、どこの施設か。
事務局	防府市スポーツセンターのこと。
B委員	10万人弱増やすということだが、これは指定管理者に任せるということか。
事務局	指定管理者一任ではなく、利用者の増加に向けた市としての取組の1つとして、指定管理者制度を用いる。
B委員	数値目標について、指定管理者と協議はしたのか。現状で利用者が減っている中で、増やす具体的な策があるのか。
事務局	市としては、イベント等を開催し利用者数を増加させていきたい。例えば環境を充実させることの成果と捉えている部分でもあり、市内だけではなく県内、全国の方から利用者が増えるようなイベントや大規模大会の誘致をしていくというところで60万人と設定した。
C委員	22ページの表を見る限り、施設が何を指すか分からない。
事務局	表記を改める。
A委員	令和7年の目標値が65%というのは、どういう根拠か。
事務局	国のスポーツ基本計画と、県のスポーツ推進計画の数値目標となっている65%に合わせている。
A委員	県の現状値は市と比べてどうなのか。

事務局	県については29.3%で、市の方がスポーツ実施率は高い。
C委員	国や県に合わせたというのではなく、市のスポーツ推進計画なので、市の現状に沿った数値目標を設定すべきでは。
事務局	65%という数値は国や県に合わせた形になっているが、現状3人に1人が実施しているものを3人に2人はやっていただきたいという思いはある。
B委員	前回の資料と比較して、子どもと障害者のスポーツ実施率について記載が無くなっているが、理由はあるのか。
事務局	基本方針1つに対して目標を1本化していくことで、分かりやすい計画としている。
B委員	人材の育成についての目標指数が、子どものスポーツ実施率からスポーツ指導者数に変わっているが、指導者数を指す団体とは何か。変更した経緯として、どのような理由があるのか。
事務局	スポーツ指導者数については、市スポーツ少年団の指導者数を指している。変更した理由は、子どものスポーツ実施率は現時点で9割近い高水準であり、人材の育成という観点から指導者の増加について特記した。
委員長	子どものスポーツ実施率については高水準ということであるが、一方で二極化問題もあるので、どうやって防いでいくか注意しなければならない。例えば、成人・子ども・障害者を分けて改めて生涯スポーツの推進として数値目標を設定するのはどうか。
事務局	検討する。
B委員	こういった数値目標について、指定管理者やスポーツ少年団等へはたらきかけるよう周知をお願いしたい。
事務局	周知に努める。

委員長	20ページの表記を見ると行政と指定管理を受けている団体との連携が少し見えにくい。指定管理の募集要項に数値目標へ向けた企業努力を求めるなど、そういった連携が実現できるよう行政にもお願いしたい。
事務局	連携に努める。
D委員	現状の数値については、何をもとに算出しているか。
事務局	アンケート結果と指定管理者の集計をもとに算出している。
D委員	アンケートの実施は5年に1回か。
事務局	計画の見直しのタイミングでアンケートを実施した。
A委員	障害者スポーツについて、障害者がスポーツをするにも障害者スポーツ指導員等のサポートが必要なので、検討してほしい。
委員長	障害者スポーツについては、スポーツ指導者に限らず、サポートを担う人材も必要になる。 続いて、次第3その他について、事務局から何かあるか。
事務局	今後の流れとして、委員の意見に基づき修正し、12月21日から1月19日までの30日間パブリックコメントを実施する。その後、議会へ提出し、議決をもって策定という流れになる。また委員へ修正したものを郵送する。
委員長	他にないか。 今日の委員会をもってスポーツ推進計画をまとめることができた。委員の皆さんの活発な意見に感謝したい。
事務局	委員の方には3回にわたり活発な意見をいただき感謝したい。22ページの目標については、分かりやすい文言へ変更する。計画の目標については、行政だけではなく市民の目標となる。この目標に近づき超えられるよう今後とも協力をお願いする。

閉会